



# 海外事業

島嶼地域沖縄で開発・改良された技術を海外へ

普及実証事業への参画（対象国：サモア独立国：平成 25～27 年度）

民間支援事業の普及・実証事業へ、福山商事株式会社と共に参画しております。本事業は平成 25～27 年度まで 3 ヶ年の事業計画です。事業としては、雨期における高濁した水道原水を、砂利の下に埋めた有孔管（孔のあいたパイプ）で取水し、濁度を軽減させる施設を作ります。これにより浄水場の負荷が軽減されることが期待されます。



写真.高濁した河川



写真.濁水が流入した浄水場

福山商事（沖縄市、福山保社長）は、南太平洋の島国サモアで、河川から浄水場に水を引く取水管に取り込む水のろ過システムを導入する。14日、国際協力機構（JICA）と業務委託契約を締結した。

**ろ過システム  
サモアで導入**  
福山商事 来年度工

年内に現地調査し、来年6月の工事を自揮す。サモアの土壌は絹を流収しにくい火山地質のため、11、5月の雨期には、雨に流された大量の土砂が河川に流入し、浄水場の能力を越える濁水になるという。同社は、河川にある取水管の入り口に砂利などを使ったろ過システムを設置し、浄水場に取り込む前の水の濁りを取り除く。取水管には、空気を送る逆洗管も併設。取水管の入り口にたまるとろ過能力が低下するのを防ぐ。JICAは本年度から、中小企業の海外展開を後押しするため、製品や技術を支援する「民間提案型普及・実証事業」を始めており、同社は県内で3社目の委託契約となる。

沖縄タイムス（H25.11.20）

**サモアの水を浄化**  
福山商事 JICA事業を受託

国際協力機構（JICA）は、南太平洋の島国サモアのろ過システムを導入する。14日、国際協力機構（JICA）と業務委託契約を締結した。同社は、河川から浄水場に水を引く取水管に取り込む水のろ過システムを導入する。14日、国際協力機構（JICA）と業務委託契約を締結した。

事業は2016年3月末まで、今年11月中旬に第1回現地調査をする予定。取水管を埋め込む際の土砂をろ過する方向と逆に水を流し濁りを取り除く。取水管には、空気を送る逆洗管も併設。取水管の入り口にたまるとろ過能力が低下するのを防ぐ。JICAは本年度から、中小企業の海外展開を後押しするため、製品や技術を支援する「民間提案型普及・実証事業」を始めており、同社は県内で3社目の委託契約となる。

琉球新報（H25.11.20）